

◇「はじめてのハイク」

瀬戸第6団カブ隊
濱崎 嵩也

7月26日、ぼくはカブ隊に入って初めてデイキャンプへ行きました。
春日井少年自然の家という場所でハイクをしました。
みんなで、いろんな追跡サインやコマ地図を見ながら順調に進んで行きました。
でも、目印のキノコの形をした休憩場所で道を間違えてしまいました。
進んで行っても次の目印がなく、間違いに最初に気付いたのは組長でした。
ぼくは、「すごい！ぼくも組長みたいになりたい！」と思いました。
ハイクの途中、透明できれいな冷たい小川や、同じ方向を向いたたくさんのカエル達も見つけました。
いっぱい歩いて疲れたけど、組のみんなと協力しながらハイクができて楽しかったです。
また行きたいです。



◇「いつもと違うキャンプ」

瀬戸第6団カブ隊
大澤 巧実

今年はコロナの影響で泊まらないキャンプになりました。

そんなキャンプの中でも楽しかった思い出は、花火と火起こしです。

花火は、ナイアガラ滝でスタートして、いろんな種類の花火があって、さらにみんなと一緒にやれたので楽しかったです。

火起こしは、今までの経験を活かして上手に早く起こすことができました。

あと、少し心配だったスタンプも、みんなで協力することができて成功だったと思います。
キャンプの最後に、みんなおそろいのチーフリングを作り、組が一つになったような気がします。



◇「はじめてのキャンプ」

瀬戸第6団カブ隊
杉本 歩美

カブに入って、はじめてキャンプに行きました。

キャンプでは、はじめてスタンプをやりました。
ドラえもんをテーマにして、困っているカブ太くんをいろんな道具を使って助けたいと感じにしました。みんなもドラえもんのポケットの中にある道具の名前を知っているか

ら、上手に使うことができ、スタンプが上手にできました。
夜にはお楽しみのナイトプログラムがありました。「おかだえもん」というドラえもんのなかまが来て、花火を何本も用意してくれて、その夜はさいこうの夜になりました。
とても楽しかったです。
またみんなとキャンプに行きたいです。



◇「楽しかったキャンプ」

瀬戸第6団カブ隊
杉本 朋美

今年のキャンプは、いつもよりも短くて泊りのないキャンプでした。
でも、いつもとはちがう楽しみ方ができてうれしかったです。



自分たちの作業場所を作るためにタープを立て

てました。タープは、何回かやったことがあるのですが、一応立たせることはできたけど上手くできないところもありました。何回やってもやっぱり「むずかしいなあ」と思います。

木の棒と縄を使った野外工作もやりました。縄をしばるのに意外と力を使ったので、けっこう疲れたけど、みんなと頑張ったおかげで上手に作ることができてうれしかったです。いっぱい楽しいことができたけど、やっぱり次は、「泊りのキャンプができればいいな」と思いました。

◇「シャワークライミングの思い出」

瀬戸第6団 ボーイ隊
平岩 稜大

僕は、今年の秋ごろに、初めてシャワークライミングをしました。前にも、シャワークライミングをする機会はあったのですが、指を骨折していてできなかったのもので、すごく楽しみにしていました。



当日、シャワークライミングをする前に、ウェットスーツを着ました。すごく分厚くて、こんなもの必要なのか？と思いました。でも、クライミングを始めると、思ったより深い所がたくさんあり、必要なことを気付かされ、準備した装備がきちんと役に立ちました。

岩から水にジャンプしたり、川をすべったりしました。ごつごつした岩があったり、滑りやすかったりと、危ないところもありましたが、楽しい思い出がたくさんできました。この体験は、自分にとってすごく貴重で良い

ものだったと思います。秋だから寒かったですが「またやりたい！」と思えるほど楽しかったです。でも来年するときは夏が良いなと思いました。

◇ 「初めてのカタパルト作り」

瀬戸第6団 ボーイ隊
前園 悠斗

僕は、8月30日に長久手第一団長鶴野営場で、カタパルト（投石機）を作りました。初めて作るから少し苦戦したけど、何とか班のみんなで作れました。そして、石のかわりにテニスボールを飛ばしました。

初めて作ったわりにはよく飛んで、ボールを飛ばした方向は木がたくさんありボールがなくなってしまうほどだったのがおもしろかったです。また、そのカタパルトは石をのせるスプーンが付いた棒を横向きに着けた棒にあてて反動で飛ばす仕組みでしたが、ほかのひとがやったら、あてる棒が折れたのもおもしろかったです。

また、班のみんなと大きい物を作りたいと思いました。



◇ 「シャワークライミングの思い出」

瀬戸第6団 ボーイ隊
川口 姫花

私は、9月20日にシャワークライミングをやりました。私の心に一番残っているのは岩のぼりです。特に岩のぼりでけがをせずにやることができたことです。

最初はシャワークライミングをするのは不安でした。水がすごくつめたかったけど、入っているうちに慣れてきました。水に入って

移動していたら、大きい岩があって、みんながそこでとび込んでいたので、私もやってみたら楽しかったです。

また、岩のぼりの練習をしたあとの本番は難しかったけど登れました。

シャワークライミングは難しかったけど、楽しくやれたのでよかったです。



◇ 「糸電話」

春日井第2団 ビーバー隊
吉田 龍生

ぼくは、どうして糸でこえがきこえるのかすごくふしぎでした。糸の中にあながあるのかなと思いました。

しんどうでこえがきこえることを、はじめてしました。みんなのところにとどく糸でんわが、ふしぎでした。すごくほそい糸でこえがきこえたのはすごいです。たのしかったです。



◇ 「糸電話」

春日井第2団 ビーバー隊
大矢 さちな

ビーバースカウトで、糸電話をつくりました。長い糸で電話をつくったり、たくさんの人とつながる電話をつくりました。けいたい電話は、糸がありませんが、糸電話は糸があるから、声がどこをとおるかわかりました。声がきこえて、びっくりしました。とてもよくきこえました。

◇ 「むずかしかったテント作り」

春日井第2団 カブ隊
孫^{そん}（孫）^{ユジャン} 昱章

9月27日にかつどうがありました。ないようはテント作りと、火おこしで、テント作りはひもがよそうのとちがって、あさひもでした。テントは前から見ると三角形で、上は、ひもでささえ、さいしょは1本でしたけど、かけているとちゅうにきれたから次は、何回も通しました。かけ終わったあとに1本きれたけど、その後は切れていません。

火おこしは、マッチでやったので、するりとマッチに火がつきましたけど、本当に使うときは、なぜかなかなか木などに火がつかなくて、ざんねんでした。その後テントのかたづけは、けっこう早くできたと思います



◇ 「おもしろいカブスカウト」

春日井第2団 カブ隊
松原 冬美

私はカブスカウトでおもしろいと思ったことが2つあります

1つ目は夏キャンプで、みんなで協力してみんなで協力してご飯を作ることです。なぜならばみんなで作るとご飯がいつもよりおいしく感じるので料理をするときは、心がおどります。

2つ目はチャレンジ賞です。チャレンジ賞はがんばった分だけバッヂがもらえるのでおもしろいです。

1番むずかしかったのは、「国際」です。くわしくかくことが多かったので大変でした。

ボーイ隊に上進するまでにせめて30個ぐらいはがんばって最後までやりたいです。私はこれからカブスカウトで教えてもらったことを生活に生かしていきたいと思いました。



◇ 「私のスカウト活動」

春日井第2団 ボーイ隊
一宮 梓真

私は今年でボーイ四年目になりました。今まで活動してきた中で、刃物の取り扱いと救護の分野が個人的に好きだと感じました。どちらも普段の生活でも活かせることで興味深かったです。ナイフでものを切ったりするのは便利です、その時けがをしてしまったとしても応急処置ができればかっこいいですね。

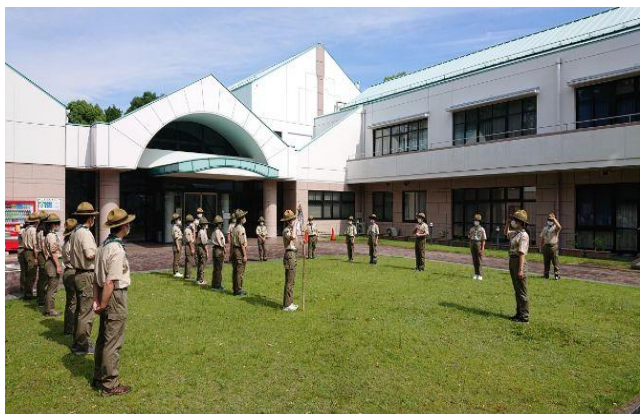
それ以外でもボーイで習ったことは自分の人生に活かしていきたいと思います。



◇ 「班長になって」

春日井第2団 ボーイ隊
佐藤 直己

僕は、班長の大変さそして楽しいところを知りました。初めは、上手く指示できるかどうか不安でした。けれど、班員のみんなが助けてくれたり、アドバイスができたりするとうれしかったりします。また、年下に教えるときに上手く伝わらなかったときや、間違えてしまったときはくやしいです。ボーイスカウトは一人一人の技能も大切だけれど協力が一番だなと感じることができました。



◇ 「隊集会」

春日井第2団 ボーイ隊
松原 愛夏

私は、コロナ中の隊集会で思ったことは、二つあります。

一つ目は、キャンプが中止になったことです。私は、キャンプが好きなので、夏キャンプがなくなり、とてもがっかりしました。

二つ目は、お昼ご飯のとき、離れて食べる

ことです。前は、皆で賑わって食べていたのに、今では黙々と食べているので寂しいと思いました。

コロナで、色々大変ですが、健康の大切さを改めて感じました。



◇ 「次こそ釣るぞ！」

春日井第2団 ボーイ隊
西 悠大

僕がボーイスカウトで思う一番のスカウト活動は釣りだと思います。私は一匹も釣れませんでした。私の隣ではなおき君がたくさん釣っててすごいと思いました。ヒットしたんですが上げる時に魚が落ちてしまいました。釣りをした場所がすごくゴミがあったのでそうじをしたいなぁと思っていました。前は魚一匹も釣れなかったの次こそはぜったいに釣ってやるとしています。なおき君をめざしてがんばりたいと思っています。ケガをしてもがんばったのをおぼえています。



◇ 「ビーバー隊の稲刈り」

春日井第4団 副団委員長
青木正士

昨日は一日中雨で今日の稲刈りは足元が悪いと危惧していたが、天気も回復して気持ちよく稲刈りができた。今年の春にビーバー隊でもち米の田植えをして、今日は稲刈りです。12月にはこのもち米で餅つき大会を実施する予定です。

ビーバースカウト22名と兄弟やカブスカウト5名のお手伝いがあり、総勢33名のスカウトで楽しく刈りました。カブ隊はハザ掛け部隊でビーバースカウトが刈った稲を藁で結束してハザ掛けのお手伝いです。ビーバーちゃんは途中ですしサボり、冬眠準備中のカエルを見つけ遊んだがカエルさんは眠い目をこすっていた。

稲刈りを終わると突然7匹のオバケが出てきて呪文を唱えとお菓子を貰えて突然のハロウィンでした。私にもビーバーちゃんがお菓子を持ってきて「副団委員長！呪文を唱えて」って言われましたが、「トリップ？おア？ストレート？・・・」っとシドロモドロでもお菓子を頂きました。

◇ 「栗ひろい」

春日井第5団 副団委員長
中村一徳

団関係者の御好意で、中津川へハイキングを兼ね、カブ隊で栗ひろいに行きました。計画1週前の9/20に、事前調査を兼ね周辺の草刈をしましたが、当初の日程では栗が落ちそうにないので、1週遅らせて10/4に変更しました。

当日スカウト達は、勝川駅よりJRで坂本駅まで移動し、途中で栗ひろいしながらハイキングで現地入り。(危険箇所は副長が先回りし安全確保) おにぎりの昼食を食べてから栗ひろいを始めました。皆が初めてだったので指導者と一緒に説明を聞きながらひろいました。その後、収穫した栗の絵を全員で書き、往路を逆に帰路につきました。

今季はコロナの影響で活動が制約されていたこともあり、久しぶりに楽しい活動が出来ました。

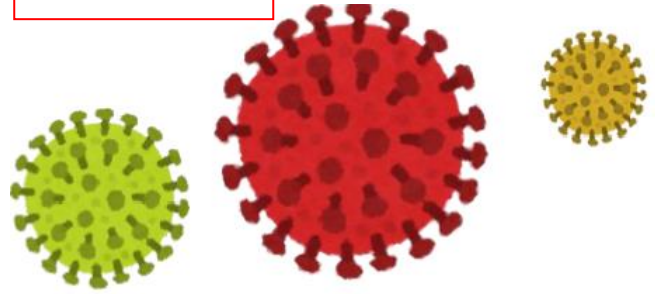


尾張東地区各団の体験・見学行事予定の案内

今回もコロナウイルスの影響もあり先が見通せないので案内は中止します。

各団とも、3密を避けコロナ対策を十分にとり体験・見学行事を行なってください。

コロナに注意



皆さんコロナ対策を十分取って活動しましょう

尾張東地区行事予定の案内

コロナウイルスの影響より開催の可否は再確認してください

スカウト進歩委員会

- ・12月20日県アフターフォーラム
- ・12月5日～6日青少年のための「気象予報技能」修得研修会

指導者養成委員会

- ・スキルトレーニング研修会：11月15日（大口町白山ふれあいの森）
- ・ゲームソング研修会：12月6日（犬山野外活動センター）

行事・国際委員会

- ・令和2年11月8日（日）子どもたちの未来の森づくり特別事業
- ・令和3年3月13日（土）～15日（月）「ローバームート2021」実施
- ・令和3年3月25日（木）～28日（日）「ハイアドベンチャープログラム2021」

総務委員会

- ・11月15日防災ボランティアコーディネータ養成講座

コロナウイルスやっつけるぞ

- ☆ 石鹸をつけて手を洗いましょう
- ☆ 咳が出るときはマスク着用
- ☆ 風邪を引いたら家で休む

《編集者より》

記事投稿ありがとうございました。

コロナによる活動中止が続いた為、7月配布予定の『はやぶさ』は延期させていただきました。今後もコロナ対策を十分取って活動しましょう

次回は3月末締め切りです。

担当はBグループ 大口1団 江南3団 瀬戸1団 日進2団 小牧1団 春日井4団 春日井10団です。

楽しい記事をお待ちしています。